

「本と図書館をさらに身近に！西高図書館の取組」

1 学校の概要

- ①所在地 福島県耶麻郡西会津町野沢字上條道東甲256番地
- ②学級数 3クラス 生徒数 39名 (令和6年5月1日現在)
- ③学校図書館の蔵書数 13,404冊 (令和6年5月1日現在)

2 これまでの取組

(1) 西高祭における図書委員会企画の実施

本校では、読書が好きで定期的に図書館を訪れる生徒がいる一方、本を読む習慣が確立しておらず「本や図書館にはなじみがない」という生徒も多い。そこで、生徒に読書の楽しさに気付いてもらい、図書館の積極的な利用を促すため、本校の公開文化祭である西高祭の企画として図書委員による「おすすめ本の紹介」を実施した。図書委員が全校生におすすめしたい本を1冊ずつ選び、あらすじや魅力、印象的な場面などについて説明を行った。準備と計画は学校司書と図書主任、図書委員の生徒が協力して行った。

西高祭当日は、図書委員の発表を全校生が真剣に聞いていた。今回の企画により、高校生にとっても本が身近なものであることや、アニメを原作としたものなど読みやすい本もあることを伝えることができた。



図書委員会企画「おすすめ本の紹介」

(2) 図書館オリエンテーション等の企画の積極的な実施

新入生を対象に、毎年4月に図書館オリエンテーションを実施している。実施にあたっては国語科と連携し、授業時数の中に組み込んで行っている。図書館の利用方法を体験してもらうため、本の貸し出しから1週間後の返却までを行っている。オリエンテーションでの貸し出しをきっかけに、図書館の利用を継続する生徒が生まれている。

その他には、学校司書が中心となって、図書館の効果的な利用方法がわかる「西高図書館利用

マップ」の配付や、本を借りるとスタンプがもらえる「図書館スタンプラリー」の実施など、図書館利用推進のためのきっかけ作りを定期的実施した。これらの取組の結果、休み時間や放課後等に図書館を利用する生徒が増加した。また、読書という目的以外でも、休み時間や放課後に落ち着いた環境の中で学習をしたいという生徒の利用も見られるようになった。

(3) 購入希望図書調査の実施

毎年、秋に全校生徒と教職員を対象に、図書館での購入を希望する図書の調査を実施している。今年は、11月に実施した。生徒からの希望は、流行のアニメや漫画に関連したものやライトノベルが多い。そこで図書部内で検討し、教育的な意義があるものに関しては積極的に購入するよう努めている。教員からの希望があったものも含め、約9割の希望図書を購入している。

(4) 図書だよりの定期的な発行

新刊図書の購入に合わせて、年4回発行している。新刊図書の紹介や「司書のひとりごと」というコーナーが中心となっている。「司書のひとりごと」のコーナーでは、学校司書の存在が身近になるよう、話題の本に関するコメントや最近の図書館の様子などを随時発信している。全校生に配付し、教室や廊下等にも掲示している。新刊図書の記事を見て図書館に借りに来る生徒もおり、生徒の読書活動に役立てられている。

(5) 授業における積極的な図書館の利用

国語科や「総合的な探究の時間」の授業等で、図書館を学習の場として積極的に利用している。本校の図書館は壁面に沿って本棚が並ぶ開放的なレイアウトであるため、生徒の話し合いやワークショップ等に適している。また、調べたいことがあればすぐに本を手にとることができるので、効率よく学習を進めることができている。



図書館を利用した授業の様子